

令和元年度

# 江津市教育委員会 点検・評価報告書

令和2年12月

江津市教育委員会

## 1. 趣 旨

平成20年4月から「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）の一部が改正、施行され、各教育委員会は、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進と市民への説明責任を果たすため、法第26条の規定に基づき、令和元年度事務の管理及び執行の状況について、学識経験者2名の意見を聴き、点検・評価を行なったものです。

## 2. 対象事業

本年の点検・評価の対象事業は、前年度である令和元年度分の主要な施策の実績を対象としました。

### 【参考】

#### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 令和元年度教育委員会活動状況

対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

### 1 教育委員会の開催

定例会 12回 臨時会 2回

### 2 教育委員会議での審議状況

#### (1) 議決事項

##### ○職員（教職員を含む）の人事に関すること

- 令和元年度主任等の任免について
- 江津市図書館協議会委員の任命について
- 江津市スポーツ推進委員の委嘱について
- 江津市文化財保護審議会議員の委嘱について
- 江津市社会教育委員の委嘱について
- 学校関係者評価委員の委嘱について
- 江津市いじめ防止対策等専門委員の委嘱について
- 教職員人事について
- 教育委員会職員の任免について

##### ○令和2年度使用小学校教科用図書採択について

##### ○令和2年度使用中学校教科用図書採択について

##### ○令和2年度学校給食費の見直しについて

##### ○平成30年度江津市教育委員会点検・評価について

##### ○新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴う臨時休業について

##### ○教職員の働き方改革プランの策定について

##### ○障害者活躍推進計画の策定について

##### ○教育委員会等規則の制定及び改廃について

- 江津市外国語指導助手規則の一部改正について
- 江津市総合市民センターの設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について
- 江津市立小、中学校管理規則の一部改正について
- 江津市立スクールバス管理規則の一部改正について
- 江津市立小、中学校通学地区規則の一部改正について
- 学校医等の配置の基準に関する規則の一部改正について
- 江津市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整備に関する規則の制定について
- 江津市立小、中学校の教職員の業務の量の適切な管理に関する規則の制定について

○校区外就学許可について 小学生 30名 中学生 6名

○校区外入学許可について 小学生 8名 中学生 3名

#### (2) 協議事項

- 平成30年度教育委員会点検・評価（案）について
- 教科書採択について
- 江津市部活動の在り方に関する方針（案）について

### (3) 報告事項

令和元年度学力育成に係る取り組みについて  
江津市立中学校英語検定料補助金交付要綱の一部改正について  
相談箱の投函に係る対応等について  
教育委員の学校訪問について  
江津市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正について  
教科用図書採択について  
全国学力調査自校採点とその活用について  
学力育成担当者会について  
消費税法等の一部改正に伴う条例改正について  
江津市外国語指導助手任用要領の一部改正について  
英語力アップ教室について  
6月補正（案）について  
全国学力・学習状況調査の江津市概況について  
江津市教職員研修会について  
学力育成に係る1学期の様子と2学期に向けて  
生徒指導及び特別支援教育の現状と対応について  
9月補正（案）について  
江津東小学校スクールバスの運行について  
安全作業マニュアルについて  
人権・同和教育講演会について  
12月補正予算（案）について  
2学期の状況と3学期の取り組みについて  
数リニピックの結果について  
令和元年度卒業式、令和2年度入学式の日程について  
江津市放課後児童クラブ設置条例の一部を改正する条例制定について  
令和元年度当初予算の内示概要について  
島根県学力調査結果について  
記録作成等の措置を講ずるべき無形の民俗文化財の選択について  
人権問題に関する市民意識調査報告について  
江津市部活動の在り方に関する方針について  
新型コロナウイルス感染症への対応について  
不登校及び問題行動等の状況について  
3月補正予算（案）について  
令和2年度指導主事の体制について  
江津市学校給食アレルギー対応食提供事業実施要綱の一部改正について  
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について  
江津市放課後児童クラブ設置条例施行規則の一部を改正する規則について  
江津市教育研究会補助金交付要綱の一部改正について

# 令和元年度教育委員会主要事業実施報告

対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

事業名	ページ
1 英語指導員招致事業	5
2 不登校等支援事業	6
3 学校司書等配置事業	7
4 スクールソーシャルワーカー活用事業	8
5 指導主事配置事業	9
6 学校空調整備事業	10
7 小学校特別支援学級運営費	11
8 小学校施設耐震化事業	12
9 小学校学力向上支援員配置事業	13
10 小学校特別支援教育支援員配置事業	14
11 中学校特別支援学級運営費	15
12 中学校学力向上支援員配置事業	16
13 中学校特別支援教育支援員配置事業	17
14 中学校教育施設整備事業	18
15 学校給食費	19
16 社会人権・同和教育事業	20
17 人権教育推進事業	21
18 図書館運営事業	22
19 社会教育活動費	23
20 ふるさと教育推進事業	24
21 学校支援地域本部事業	25
22 放課後子ども教室推進事業	26
23 放課後児童クラブ事業	27
24 ふるさと・キャリア教育推進事業	28
25 教育の魅力化推進事業	29
26 埋蔵文化財発掘調査事業	30
27 総合市民センター費	31

## 1. 英語指導員招致事業

予算現額(円)	決算額(円)
20,096,000	19,513,178

### ア、事業の目的・目標

外国から指導助手を招致し、全小中学校を訪問することにより英会話への意欲・ヒアリング能力・コミュニケーション能力を向上させることを目的とする。

### イ、施策の内容、実績及び効果

8月より指導助手を1名増員により4名体制とし、市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行った。

小学校においては、令和2年度より施行される新学習指導要領への移行措置として平成30年度に引き続き小学校3年生以上で外国語活動を行い、外国語に触れる機会を多く持つとともに外国語を使ったやり取りを楽しむ活動を外国語指導助手と行った。

中学校においては外国語指導助手と関わる中でヒアリング能力・英会話能力の向上が見られ、外国語を使って「伝わる」喜びを「伝えたい」という意欲につなげることができた。

#### ●小学校・学年別訪問授業時数 1,443 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1 年 生	0	0	1	1	0	0	0
2 年 生	0	0	1	1	0	0	0
3 年 生	31	29	33	33	69	34	38
4 年 生	29	30	33	32	65	34	35
5 年 生	49	65	65	63	75	69	52
6 年 生	39	70	65	63	88	71	57
特別支援学級	0	3	0	0	20	0	0
その他全校行事等	0	0	0	0	0	0	0
合 計	148	197	198	193	317	208	182

#### ●中学校・学年別訪問授業時数 1,381 時間 (単位：時間)

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1 年 生	265	59	104	42
2 年 生	267	46	110	52
3 年 生	177	38	102	39
特別支援学級	0	28	52	0
その他全校行事等	0	0	0	0
合 計	709	171	368	133

#### ●事業の実績

費 目	決算額(円)	備 考
報 酬	13,923,847	外国語指導助手報酬(7月まで3名、8月より4名)
共 済 費	2,049,076	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
旅 費	482,920	学校訪問旅費、研修旅費
需 用 費	77,856	授業用消耗品
役 務 費	51,840	住宅仲介手数料
使用料及び賃借料	2,141,040	住宅借上料
備 品 購 入 費	143,874	新規招致外国語指導助手用備品
負担金補助及び交付金	642,725	自治体国際化協会負担金、渡航費用負担金
合 計	19,513,178	

### ウ、評価及び課題

2学期より指導助手が4名体制となり、小学校においては令和2年度からの新学習指導要領実施に向け、全ての外国語活動の時間を外国語指導助手とともにできるように訪問を行い、中学校においては授業における補助の他に英語検定やスピーチコンテスト等への助言も行った。

全ての外国語指導助手が中学校1校と小学校1～2校を担当し、小学校において外国語指導助手と関わる中で、体験的な活動を通して学んだことを中学校における外国語によるコミュニケーション能力の育成につなぐことができるよう今後も継続して訪問を行う。

## 2. 不登校等支援事業

予算現額(円)	決算額(円)
10,867,180	9,985,220

### ア、事業の目的・目標

教育支援センター（あおぞら学園）において、不登校及び不登校傾向の児童生徒への教育相談や体験活動、学習支援を行い、学校生活への復帰を支援する。

家に引きこもりがちな児童生徒に対しては家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供するなどの支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### 教育支援センター運営事業

##### ○事業の内容

- 運営体制 教科指導員8名・指導員7名
- 開設場所 江津市教育支援センター あおぞら学園（江津保健センター内）
- 開設状況 曜日：月～金曜日 時間：9：30～16：00
- 主な内容
  - ・不登校児童生徒の在籍校、家庭や関係機関と連携しながら、集団生活への適応、基本的な生活習慣の改善等に取り組み、学校復帰への支援を行う。
  - ・児童生徒の抱える悩みに寄り添い、教科指導や体験活動、相談等を通して児童生徒の心の安定を図り、自己理解を図るとともに保護者の支援を行う。

##### ○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
共済費	776,020	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃金	7,226,800	謝礼金（教科指導員・指導員）
報償費	20,000	体験活動謝礼金
旅費	215,250	生徒指導連絡会・家庭訪問等
需用費	853,294	消耗品・光熱水費・燃料費
役務費	151,017	電話料
委託料	299,073	コンピューター更新業務委託料
使用料及び賃借料	102,940	AED借上料、コピー機使用料 他
備品購入費	340,826	コンピューター、プリンタ購入費
合計	9,985,220	

- ・利用実績：小学生8人、中学生14人（相談業務のみの利用も含む）

##### ○事業の効果

個々の目標を設定し、集団生活への適応に向けて体験活動や学習支援を行ったことで学校への復帰に前向きな気持ちを持つことができた。

教育支援センター（あおぞら学園）への通園日数は、指導要録上は出席扱いとなる。

定期的に在籍校と支援方法等を検討する機会を設け、学校復帰へつなげることができた。

家に引きこもりがちな児童生徒が、外に出るきっかけとなり、居場所づくりとなった。

保護者の抱えている悩みに向き合い、継続して関わることで、保護者及び児童生徒の心の安定を図ることができた。

### ウ、評価及び課題

家庭や学校以外に居場所を求めている子、学習に向きにくい体験的な活動には参加できる子、学習保障の場として利用している子など、子どもの実態、ニーズはさまざまであり、できる限りの対応をしてきた。その結果、令和元年度末には継続利用者が0名となった。

今後ますます多様化する子どものニーズに合わせるためには、より柔軟な対応が可能な指導体制を整えるとともに、中学校卒業後の相談窓口や支援につながる場所についての検討が必要である。

### 3. 学校司書等配置事業

予算現額 (円)	決算額(円)
10,837,000	10,631,182

#### ア、事業の目的・目標

児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、小・中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を図る。

#### イ、施策の内容、実績及び効果

##### ○事業の内容

市内全小・中学校に学校司書等（司書資格を問わない）を配置し、児童生徒へ本の紹介・アドバイス・リクエストへの対応、読み聞かせ等を行い、学校図書館機能の充実を図る。また、学校図書館を活用した授業への取り組みを行い、学びを深める場としての学校図書館の活用について実践研究を行った。

①学校図書館支援員【配置時間 1時間/日×5日/週×35週】 2校  
江東中学校・桜江中学校

②学校司書等A【配置時間 5時間/日×5日/週×35週】 8校  
郷田小学校・渡津小学校・江津東小学校・川波小学校・高角小学校・桜江小学校・  
江津中学校・青陵中学校

③学校司書等B【配置時間 6時間/日×5日/週×52週】 1校  
津宮小学校

##### ○事業の実績

費 目	決算額 (円)	備 考
報酬	1,704,450	学校司書B報酬(1名)
共 済 費	360,016	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
賃 金	8,030,000	学校司書A賃金(8名)
謝 礼 金	371,800	学校図書館支援員謝礼金(2名)
旅 費	99,370	司書研修(浜田教育センター等)
需 用 費	20,495	研究用消耗品費
図 書 購 入 費	45,051	研究用図書購入費
合 計	10,631,182	

##### ○事業効果

学校司書を配置し、読書活動の推進及び学校図書館の環境整備を行ったことにより児童生徒の読書量は増えており、学校図書館の持つ機能のうち読書センターとしての活用については成果が見られた。

「人のいる」学校図書館の実現により、児童生徒にとって読書活動や本がより身近なものになってきており、全国学力調査では読書に親しむ児童生徒の割合が全国を大きく上回る結果となった。

また小学校1校（渡津小学校）が平成30年度に引き続き学校図書館活用教育研究事業に取り組み、学校図書館を活用した授業について実践研究を行った。研究授業を広く公開することにより市内の小中学校における授業での学校図書館活用への意識の高まりがみられた。

#### ウ、評価及び課題

全ての学校で学校図書館を授業や調べ学習で活用しており、自ら学ぶための方法のひとつとして学校図書館の役割も定着してきている。

学校図書館が児童生徒にとって豊かな言語活動との出会いの場であるとともに、探究的な活動を通して情報活用能力を身に付ける場であるために、調和の取れた蔵書構成を行い、多様な統計資料や新聞等を配備し、学習活動に取り入れる取り組みを進めていく必要がある。



#### 4. スクールソーシャルワーカー活用事業

予算現額 (円)	決算額(円)
1,144,820	1,144,820

##### ア、事業の目的・目標

不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には、本人の心の問題だけでなく、複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の心に寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して環境に働きかけ、状況の改善を図り、健全育成へとつなげる。

##### イ、施策の内容、実績及び効果

###### ○事業の内容

- 運営体制 スクールソーシャルワーカー 1名
- 配置形態 派遣型
  - ・教育支援センター（あおぞら学園）に配置し、要請のあった学校や家庭に派遣し活動する。
- 活用方法 教育委員会の指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、在籍校や家庭への訪問を通して、状況の改善を図る。
- 主な内容
  - ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
  - ・関係機関等のネットワークの構築、連携・調整
  - ・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

###### ○事業の実績

費 目	決算額 (円)	備 考
賃 金	1,067,500	相談員 (1名) 賃金
旅 費	77,320	家庭訪問・学校訪問・福祉施設訪問
合 計	1,144,820	

###### ○事業効果

問題を抱える児童生徒の家庭を訪問し、学校や教育支援センターへ向うよう支援した。  
学校や関係機関等とのケース会議に参加し、保護者や児童生徒の思いや状況を伝え、環境の改善に向けて連携を図ることができた。  
悩みを抱えている保護者と向き合い、前向きな気持ちで子どもと接することができるよう継続的に支援した。  
複雑な背景を抱えている児童生徒の家庭に対して、関係機関と連携し、問題解決のためネットワークづくりを行った。

##### ウ、評価及び課題

いじめに関しては、学校と連携し、子ども・保護者に寄り添った支援をきめ細かく行った。貧困問題への対応については家族の就労支援、生活保護をはじめとする公的支援への橋渡し等を、指導主事や市担当部局と連携して行った結果、好転したケースもあった。

しかし、対応件数の増加に加え、単年度の関わりで解決することが難しく、長期的な支援を必要とするケースが多くなってきており、増員も含めた相談支援体制の強化への検討が必要である。

## 5. 指導主事配置事業

予算現額 (円)	決算額(円)
12,513,000	12,332,422

### ア、事業の目的・目標

生徒指導担当指導主事1名を配置し、不登校やいじめ等の課題に学校、関係機関と連携して取り組み、児童生徒の健全な育成につなげる。また、小学校籍と中学校籍の学力育成担当指導主事各1名を配置し、教科全般にわたり教員の授業力向上のための学校訪問を行い、児童生徒の学力育成につなげる。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

業務内容	小学校訪問回数	中学校訪問回数	合計
生徒指導支援の学校訪問	110 回	40 回	150 回
授業力向上の学校訪問	214 回	101 回	315 回

#### ○事業の実績

費目	決算額 (円)	備考
職員手当等	300,136	指導主事時間外手当
旅費	153,470	学校訪問、諸会議、研修等
需用費	25,816	教材、教育資料等
負担金補助及び交付金	11,853,000	指導主事派遣負担金
合計	12,332,422	

#### ○事業の効果

- ・不登校（傾向）の児童生徒への対応については在籍校や関係機関と連携し、不登校状態の改善が見られる等の事例があった。
- ・「江津市学力育成サイクルプラン」に基づく学校訪問を継続的にを行い、「授業改善アクションプラン」を校内研究と関連付けながら「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善に向けて指導・助言を行った。
- ・全国学力・学習状況調査や県学力調査の結果を学校ごとに分析・提供し、「学力育成担当者会」ではアクションプランの検証方法についての説明を行った。
- ・令和2年度から始まった「キャリア・パスポート」や「プログラミング教育」について江津市としての取り組みの指針を示し、教職員のニーズに応じた研修会を実施することで円滑な取り組みにつなげることができた。
- ・令和2年度より教科化となった小学校外国語、小学校外国語活動、中学校外国語に係る授業力向上に向けて重点的な訪問指導を行うとともに、小中学校の教員を対象とした研修会を行い、小学校から中学校への学びの継続性への意識を高めることができた。
- ・市内道徳教育推進教師を対象に「道徳科の指導と評価研修会」を開催し、指導計画づくりや評価の在り方について研修する機会を持った。

### ウ、評価及び課題

教育委員会に配置した指導主事の小中学校への支援、指導及び助言は、学校における生徒指導の充実や児童生徒の学力育成に大きく寄与しており、学校現場からも信頼されている。

学校訪問や「授業改善アクションプラン」の作成、実施やその検証を促すことなどにより、教員の授業改善に向けた意識改革が図られている。

また、学力・学習状況調査結果の分析等から見られた課題に対して引き続き授業改善、家庭学習等に視点を当てた取組みを各学校に促していく必要がある。

また、不登校（傾向）児童生徒の状況は複雑化しており、学校や各関係機関との連携をさらに深めるとともに、相談支援体制をより強化する必要がある。

## 6. 学校空調整備事業（繰越）

予算現額（円）	決算額（円）
318,000,000	200,004,560

### ア、事業の目的・目標

全国的に酷暑が続き、熱中症で倒れる児童・生徒が増える中、教育現場におけるエアコン整備が喫緊の課題となっている。

特別支援学級を含む全普通教室へエアコンを整備することにより、児童生徒への暑さの負担を軽減し、より快適な学習環境をつくる。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容及び実績

国の特例交付金を活用して、令和元年8月末までに市内小中学校の全普通教室へエアコンを設置する。

#### ●学校別エアコン設置内訳

小学校名	設置数		中学校名	設置数	
	室内機	室外機		室内機	室外機
郷田小学校	8	8	江津中学校	10	10
渡津小学校	8	8	江東中学校	7	7
江津東小学校	11	11	青陵中学校	12	12
川波小学校	8	8	桜江中学校	6	6
高角小学校	14	14	《小学校計》	74	74
津宮小学校	17	17	《中学校計》	35	35
桜江小学校	8	8	《小中合計》	109	109

#### ●経費内訳

業 務 の 内 容		請負金額	
空調整備工事	中部地区①（郷田小・渡津小）	機械設備	20,279,160
		電気設備	37,497,600
	中部地区②（高角小・江津中）	機械設備	28,906,200
		電気設備	29,249,640
	西部地区（川波小・津宮小・青陵中）	機械設備	39,963,240
		電気設備	21,861,360
	東部地区（江津東小・江東中）	機械設備	20,944,440
		電気設備	10,667,160
	桜江地区（桜江小・桜江中）	機械設備	15,609,240
		電気設備	9,686,520
	合 計		234,664,560
	H30年度		34,660,000
R 1年度		200,004,560	

#### ○事業の効果

エアコンを整備することにより、児童生徒への暑さの負担を軽減し、より快適な学習環境をつくることができた。

### ウ、評価及び課題

近年全国的に猛暑が続いており、教育現場におけるエアコンの整備は急を要する重要な課題であったが、今年度全ての普通教室にエアコンを設置することができた。エアコンのある教室は児童・生徒が待ち望む学習環境であり、今後は特別教室へのエアコンの設置も必要となってくる。

## 7. 小学校特別支援学級運営費

予算現額(円)	決算額(円)
895,000	790,003

### ア、事業の目的・目標

小学校の特別支援学級に在籍する障がい等により特別な支援が必要な児童に対して支援を行う。

### イ、施策の内容、実績及び効果

小学校7校に設置している特別支援学級及び津宮小学校に設置している通級指導教室において、支援を必要としている児童が適切な環境で学べるよう支援を行った。

#### ○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
需用費	422,697	消耗品・燃料・光熱水費
役務費	62,389	通信運搬費
使用料及び賃借料	12,523	コピー機使用料(通級教室)
原材料費	21,136	工作等材料費
備品購入費	271,258	通級教室・特別支援学級の教材備品
合計	790,003	

#### ○事業の効果

障がいのある児童が、安心して学習できる環境づくりを行った。

### ウ、評価及び課題

特別な支援を必要とする児童は年々増加しており、障がいの種類も知的・自閉情緒・病弱等と多様であるため、それぞれの学級を運営するにあたって児童の状況に応じた教材等を整備する必要がある。また、特別支援学級の環境整備については今後も引き続き見直しを図る必要がある。

## 8. 小学校施設耐震化事業

予算現額(円)	決算額(円)
124,810,000	121,151,800

### ア、事業の目的・目標

渡津小学校屋内運動場は昭和47年に建設されており、耐震性能向上及び老朽化対策が必要である。  
耐震補強等計画に基づく耐震補強工事及び大規模改修工事を実施し、施設の安全性を確保する。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の実績

H29年度の診断結果に基づく補強計画の策定（補強計画の他、老朽化により施設の改修が必要なことから、改修に係る計画を併せて策定）をH30年度に行い、それに基づき、耐震補強工事及び大規模改修工事を行った。

#### ●建築物の概要

施設 渡津小学校屋内運動場  
構造 鉄骨造 地上1階  
面積 544㎡  
竣工 昭和47年度

#### ●事業費

渡津小学校屋内運動場耐震改修工事 121,151,800円

#### ○事業の効果

#### ●診断結果

工事実施により、耐震性能である I s 値が目標値である0.70（補強後は0.84）を上回ることができた。

#### ●補強計画及び改修計画について

##### ①耐震補強工事について

1. 屋根ブレース補強
2. 地中梁補強（コンクリート工事含む）
3. 柱脚の補強
4. 妻柱の補強
5. 爆裂補修

##### ②大規模改修工事について

1. 屋根改修工事
2. 外壁工事
3. アリーナ床等工事
4. 建具工事
5. 機械設備工事
6. 電気設備工事

### ウ、評価及び課題

耐震診断の結果を踏まえ、補強計画案及び必要が見込まれる屋根等の改修計画案を取りまとめ、本年度工事を完了することができ、施設の安全性が確保できた。

## 9. 小学校学力向上支援員配置事業

予算現額(円)	決算額(円)
4,520,000	4,246,601

### ア、事業の目的・目標

児童の個々のつまづきを早く見つけ、きめ細かな個別指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図り、児童の学習意欲を高め、学力の向上を促す。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

児童一人ひとりの学力の伸長をめざし、個々のつまづきを早く見つけ、反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容を積極的に取り入れるために、小学校に学力向上支援員を配置した。

【年間配置時間：市内7校 合計 3,404時間】

#### ○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
共済費	11,989	労災保険料
報償費	4,231,172	謝礼金(学力向上支援員19名)
旅費	3,440	研修
合計	4,246,601	

#### ○事業の効果

児童の困り感に寄り添えるので、教員の一斉指導で取り残されるといった不安感を軽減することができた。

児童のできるようになった自信や自尊感情を高められた。

児童の理解が進み、学習意欲の向上につながった。

学習規律の確立につながった。

「分からない」と言える雰囲気づくりができた。

児童のつまづきを担任と共有することで、効果的な指導へとつなげることができた。

### ウ、評価及び課題

平成21年度より学力向上対策の一環として、全小学校へ学力向上支援員を配置しており、その活用については定着してきている。

さらに充実した事業にするためには、支援員の役割を明確化するとともに、担任と支援員が授業における支援方法について共通理解を図る必要がある。そのためにも、休憩時間等を活用し、児童の様子について情報交換する機会を確保するなど、支援員と教員がコミュニケーションを図れるような環境が必要となる。また、児童への支援のあり方がより充実したものになるよう、支援員を対象にした研修は、今後も継続的に実施していく。

## 10. 小学校特別支援教育支援員配置事業

予算現額(円)	決算額(円)
8,661,000	8,438,973

### ア、事業の目的・目標

小学校に在籍する「学習障がい(LD)・注意欠陥多動性障がい(ADHD)・高機能自閉症」等の教育的支援が必要な児童に対して、特別支援教育支援員を配置して、学校生活上の介助や学習活動の支援を行う。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

平成18年6月の学校教育法の一部改正に基づき、小学校に在籍する発達障がい等により特別な支援が必要な児童に対して、学校における日常生活上の介助や、学習活動上の支援を行うために、小学校に特別支援教育支援員を配置した。

【年間配置時間：市内7校 合計 6,765時間】

#### ○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
共済費	26,058	労災保険料
報償費	8,408,895	謝礼金(特別支援教育支援員22名)
旅費	4,020	研修
合計	8,438,973	

#### ○事業の効果

授業に集中して取り組むことができない児童や指示が伝わりにくい児童への声掛けや個別に支援をすることで、落ち着いて学習できる環境をつくることができた。

担任と連絡ノートを使用して、情報交換や支援の方法について細かく連絡をとり、必要な支援を適切に行うことができた。

担任と支援員とが複数で関わることで、多角的な視点から児童理解が深まり、効果的な支援を学校全体で行うことができた。

### ウ、評価及び課題

平成19年度より全小学校へ特別支援教育支援員を配置している。近年、特別な支援を必要とする児童が増えており、学校からの要望は高くなっている。

児童への支援のあり方について具体的に考えるとともに児童理解を図るため、支援員や管理職を対象に研修会を実施したが、今後も研修内容を検討しながら継続的に実施する必要がある。また、よりよい学習環境を整えるためには、担任と支援員が密に連携し、情報や指導方針等を共有し、全校体制で児童を支えていくことが大切である。そのためにも担任と支援員の情報交換の場を確保し、より連携を図るための手立てについて考える必要がある。

## 11. 中学校特別支援学級運営費

予算現額(円)	決算額(円)
341,000	294,634

### ア、事業の目的・目標

中学校の特別支援学級に在籍する障がい等により特別な支援が必要な生徒に対して支援を行う。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

中学校5校に設置している特別支援学級及び青陵中学校に設置している通級指導教室において、支援を必要とする生徒が生徒の困り感や保護者の要望に添い、個別対応による支援を行った。

#### ○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
需用費	132,762	消耗品・燃料費
役員費	38,432	電話料・郵券代
原材料費	4,755	工作等材料費
備品購入費	118,685	教材備品
合計	294,634	

#### ○事業の効果

障がいのある生徒が、安心して学習のできる環境づくりをすることができた。

### ウ、評価及び課題

特別な支援を必要とする児童は年々増加しており、障がいの種類も知的・自閉情緒など多様であるため、それぞれの学級を運営するにあたって生徒の状況に応じた教材等を整備する必要がある。また、特別支援学級の環境整備については今後も引き続き見直しを図る必要がある。



## 12. 中学校学力向上支援員配置事業

予算現額(円)	決算額(円)
4,804,000	4,605,051

### ア、事業の目的・目標

生徒の個々のつまずきを早く見つけ、きめ細かな個別指導を行うことで、基礎的な学力の定着を図り、生徒の学習意欲を高め、学力の向上を促す。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

生徒一人ひとりの学力の伸長をめざし、個々のつまずきを早く見つけ、反復学習など丁寧な指導や発展的な学習内容を積極的に取り入れるために、中学校に学力向上支援員を配置した。

【年間配置時間：市内4校 合計 3,692時間】

#### ○事業の実績

費 目	決算額(円)	備 考
共 済 費	13,395	労災保険料
報 償 費	4,589,156	謝礼金(学力向上支援員9名)
旅 費	2,500	
合 計	4,605,051	

#### ○事業の効果

支援員の学習支援により、困り感のある生徒の学習意欲や学力の向上が図られた。  
支援方法や学習状況など、担任・授業担当者との情報交換することで、授業改善を図ることができた。

### ウ、評価及び課題

平成21年度より学力向上対策の一環として、全中学校へ学力向上支援員を配置しており、その活用については定着してきている。

さらに充実した事業にするためには、支援員の役割を明確化するとともに、担任と支援員が授業における支援方法について共通理解を図る必要がある。そのためにも、休憩時間等を活用し、生徒の様子について情報交換する機会を確保するなど、支援員と教員がコミュニケーションを図れるような環境が必要となる。また、生徒への支援のあり方がより充実したものになるよう、支援員を対象にした研修は、今後も継続的に実施していく。

### 13. 中学校特別支援教育支援員配置事業

予算現額(円)	決算額(円)
1,568,000	1,315,808

#### ア、事業の目的・目標

中学校に在籍する特別な支援が必要な生徒に対して、特別支援教育支援員を配置して、学校生活上の介助や学習活動の支援を行う。

#### イ、施策の内容、実績及び効果

##### ○事業の内容

平成18年6月の学校教育法の一部改正に基づき、中学校に在籍する発達障がい等により教育的な支援が必要な生徒に対して、学校における日常生活上の介助や、学習活動上の支援を行うために、中学校に特別支援教育支援員を配置した。

【年間配置時間：市内4校 合計 1,067時間】

##### ○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
共済費	4,949	労災保険料
報償費	1,308,879	謝礼金(特別支援教育支援員7名)
旅費	1,980	研修
合計	1,315,808	

##### ○事業の効果

一斉指導では指示が通りにくい生徒に対し、教科書やノートの準備や読み取りについて支援員がサポートすることで、落ち着いた状態で、安心して学習することができた。  
授業以外の時間において、学校生活上の支援を必要としている生徒のサポートを行い、安定した学校生活を送ることができた。

#### ウ、評価及び課題

平成19年度より全中学校へ特別支援教育支援員を配置している。近年、特別な支援を必要とする生徒が増えており、学校からの要望は高くなっている。

生徒への支援のあり方について具体的に考えるとともに生徒理解を図るため、支援員や管理職を対象に研修会を行っており、今後も研修内容を検討しながら継続的に実施する必要がある。また、個に応じた支援を行うためには担任と支援員が密に連携し、情報や指導方針等を共有し、全校体制で生徒を支えていくことが大切である。そのためにも担任と支援員の情報交換の場を確保し、より連携を図るための手立てについて考える必要がある。

## 14. 中学校教育施設整備事業

予算現額(円)	決算額(円)
26,181,400	26,181,400

### ア、事業の目的・目標

桜江中学校屋内運動場は老朽化等により雨漏りが発生しており、授業等への影響が出ているため屋根改修工事を行う。

また、生徒昇降口も老朽化により雨漏りが発生しているため、屋上防水改修工事を行う。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の実績

屋内運動場の屋根については、H30年度に実施設計を行い、それに基づき、カバー工法による屋根改修工事を行った。生徒昇降口屋上はシート防水による屋上防水改修工事を行った。

#### ●建築物の概要

施設 桜江中学校屋内運動場、校舎(昇降口)

構造 鉄骨造 地上2階

面積 1,233㎡

竣工 昭和52年度

履歴 H21年度 耐震補強済み

#### ●事業費

桜江中学校屋内運動場屋根改修工事 23,922,000円

桜江中学校昇降口屋上防水改修工事 2,259,400円

#### ●補強工事及び改修工事について

①屋内運動場屋根改修工事について

1. ガルバリウム折版(カバー工法)

2. 樋及び呼樋の取替

②昇降口屋上防水改修工事について

1. 塩化ビニル樹脂系シート防水

2. 平場部 機械固定工法

3. 立上部 接着工法

#### ○事業の効果

工事を実施したことにより、雨漏りがなくなった。

### ウ、評価及び課題

桜江中学校屋内運動場は、学校の授業等で使用するほかにも災害時の避難施設にも指定されており、工事が完了したことにより学校活動はもちろん、災害時においても安心して使用することができるようになった。

## 15. 学校給食費

予算現額(円)	決算額(円)
115,872,000	110,429,159

### ア、事業の目的・目標

安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健やかな成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資する。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

	学 校 名	実施日数(日)	実施食数(食)
配食実績	郷田小学校	176	17,723
	渡津小学校	177	18,647
	江津東小学校	179	18,994
	川波小学校	178	16,689
	津宮小学校	179	56,208
	高角小学校	180	46,415
	桜江小学校	180	22,914
	江津中学校	173	43,014
	江東中学校	179	11,281
	青陵中学校	174	43,537
	桜江中学校	179	10,114
	江津学校給食センター	184	4,002
	桜江学校給食センター	184	936
	合 計	2,322	310,474

#### ○事業の実績

費 目	内 容 等	決算額(円)
報 償 費	謝礼金	5,000
需 用 費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	28,537,050
役 務 費	電話料等	2,366,295
委 託 料	給食車運転業務委託料等	12,275,809
使用料及び賃借料	CATV、印刷機使用料等	766,950
備 品 購 入 費	調理用備品等	2,231,822
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	64,103,833
公 課 費	給食車重量税	142,400
	合 計	110,429,159

#### ○事業の効果

衛生管理の徹底が一層向上するように、調理員をはじめ学校給食に関わる職員を対象に衛生管理研修を行った。

食物アレルギーのある児童生徒に対しては、平成29年3月に策定した「江津市学校給食における食物アレルギー対応ガイドライン」に基づき対応を行っている。また年2回開催している食物アレルギー対応検討委員会では、学校、小児科医等を交えて情報共有を図るほか、アレルギー対応の一連の流れにおける改善について意見交換を行うことにより、より安全安心な給食の提供に努めている。

### ウ、評価及び課題

調理員の研修等を継続的に実施し、衛生対策の強化を図ることにより、安全安心な学校給食の提供に努めた。また、食物アレルギー提供食について、ガイドラインに基づきヒヤリハットの事例を給食センター、学校、教育委員会が共有する等、事故防止に継続して努めていく。更に安心・安全な学校給食を提供するために、設備等の計画的な更新を行っていく必要がある。

## 16. 社会人権・同和教育事業

予算現額（円）	決算額（円）
3,871,000	3,345,763

### ア、事業の目的・目標

同和問題をはじめとする人権問題を市民一人ひとりが正しく理解し、自らの問題として捉え、早期解決が図られるよう「差別をしない」「差別をさせない」「差別を許さない」姿勢とともに問題解決への行動力を培う。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容、実績

概 要	決算額（円）
<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権・同和教育指導員の設置（社会教育指導員1名）</li> <li>●人権・同和教育推進協議会の開催（7月23日）</li> <li>●県人権・同和教育推進協議会連合会、研究集会、研修会等参加</li> <li>●人権・同和教育研修会の開催（市職員研修等）</li> <li>●教育集会所（波来浜ふれあい集会所）管理・運営等</li> <li>●「人権・同和教育講演会」 講演：8月5日（月）江津市総合市民センター 演題：「恥ずかしい」のはどっちだ ～差別・いじめの仕組み(メカニズム)を考える～ 講師：江嶋修作さん（解放社会学研究所所長） 参加者数：256人</li> </ul>	2,760,917
●人権問題に関する市民意識調査の実施（11月）	353,846
●地域人権・同和教育推進協議会活動事業の実施 ・4地域を指定コミュニティとして委託（渡津・和木・波子・長谷）	200,000
●諸会議負担金（島根県人権教育研究大会参加費）	2,000
●島根県同和教育推進協議会連合会負担金	29,000
合 計	3,345,763

#### ○事業の成果

講演会ではいじめや差別について、「する側」「される側」それぞれの視点からの理解を深め、恥ずかしいのはどちらか、問題を抱えているのはどちらかを考えることで、する側の抱える問題について受講者の意識の変化が伺えた。（アンケート結果による）

指定コミュニティでの研修や出前講座で草の根的な人権教育・啓発を進め、市民の人権への理解が深まった。

### ウ、評価及び課題

講演会は市教研から122人の教職員が聴講し、いじめや差別の陰にある問題について認識を新たにしてもらったが、訪れる一般市民の顔ぶれは固定化が目立った。引き続き若い層や男性の参加者を増やすための工夫が必要である。

指定コミュニティにおける研修内容の充実に向けて適切な助言を行う必要がある。

## 17. 人権教育推進事業

予算現額 (円)	決算額 (円)
652,000	446,086

### ア、事業の目的・目標

「すべての市民の人権が尊重される、人権感覚豊かな明るい社会」の実現のため、学校・地域の人権教育を推進する。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容、実績

概 要	決算額 (円)
<ul style="list-style-type: none"> <li>●みんなで考える人権のつどいの開催 期間：7月～3月 会場：17地域コミュニティ交流センター 演題：「暮らしの中の人権Ⅷ～今を共に生きる～」 講師：二又 茂樹（社会教育指導員） 参加者数延べ：384人</li> <li>●地域別人権問題研修会の開催 11月21日 青陵中 講師：三光スーパード 参加者数：258人 12月 4日 江津中 講師：鶴川美和 参加者数：250人 12月 5日 桜江中 講師：鶴川美和 参加者数：56人 1月14日 江東中 講師：女鹿田陽 参加者数：70人</li> <li>●人権問題学習会の開催 2小学校で計画されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> <li>●人権・同和教育主任等研究協議会の開催 期間：6月・11月・2月（年3回開催）（参加者数延べ：86人） 内容：講演・分科会</li> </ul>	291,047
<ul style="list-style-type: none"> <li>●人権啓発作品展の開催（応募数986点 表彰数32点） 期間：11月28日～12月10日 会場：市総合市民センター（エントランスホール） 内容：人権イラスト・作文・メッセージの展示 表彰式：各学校</li> <li>●人権啓発カレンダーの製作・発行 2,000枚</li> </ul>	155,039
合 計	446,086

#### ○事業の効果

社会教育指導員によるコミュニティの巡回講演は概ね好評で、地域の人権意識の醸成に貢献できた。

学校の人権集会では、各校が様々な人権課題を取り上げ、考える機会として積極的に取り組んでいる。

人権啓発作品は、自らが作成することや他の児童・生徒の作品を鑑賞することで、人権に関する様々な気づきにつながった。

### ウ、評価及び課題

地域コミュニティにおける人権教育には温度差が見られる。住民一人ひとりの人権感覚が豊かになることで、他者や他文化と共生できる風通しの良い地域社会が構築できることをもっとアピールする必要がある。

いじめやLGBTへの対応等、学校現場における人権問題学習は子どもたちのみならず、教職員にも必須である。各学校の自主性を尊重しながら、学校現場からの様々な要望に応えられるよう、今後も教育委員会がアシストしていく必要がある。

児童・生徒が人権に能動的に関わる人権啓発作品についても応募数を増やす等、取り組みを進める必要がある。

## 18. 図書館運営事業

予算現額 (円)	決算額 (円)
26,083,631	26,082,809

### ア、事業の目的・目標

市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書資料を収集整備し、市民に自由で公平な利用ができる場を提供する。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ●支出状況

費 目	金 額 (円)	内 容
報酬	17,500	図書館協議会委員報酬
旅 費	14,840	図書館協議会委員旅費
需用費	1,234,791	光熱水費
役 務 費	12,204	自動車損害保険料
委 託 料	22,287,570	指定管理料
備品購入費	2,499,904	図書購入費
負担金及び交付金	16,000	島根県公共図書館協議会会費等
合 計	26,082,809	

#### ●蔵書冊数

区 分	蔵書冊数	受入図書	廃棄図書	令和元年度末 蔵書冊数
本 館	71,822 冊	1,691 冊	88 冊	73,425 冊
桜江分館	15,952 冊	403 冊	139 冊	16,216 冊
合 計	87,774 冊	2,094 冊	227 冊	89,641 冊

#### ●利用状況

区 分	本 館	桜江分館	移動図書	計
開館日数	282 日	282 日		
入館者数	13,187 人	4,547 人		17,734 人
利用者数	8,959 人	1,680 人		10,639 人
登録者数	1,020 人	217 人		1,237 人
貸出冊数	38,047 冊	4,155 冊	465 冊	42,667 冊

#### ●文化活動

講 座 等	会員数	開催日数	開催期日 または定例日
古文書を読む会	28 人	11 回	毎月第1土曜日 14:00~16:00
歴史を楽しむ会	9 人	10 回	毎月第2月曜日 14:00~16:00
本と子育てを語る会	10 人	6 回	毎月第4日曜日 13:30~16:00

#### ●その他

##### ・催し

4/27(土)~5/26(日)	こども読書週間企画	参加者 本館98人、分館110人
8/3(土)~18(日)	としょかん縁日 (本館)	参加者 約100人
10/19(土)~30(水)	としょかんまつり (読書週間企画)	参加者 本館約30人、分館約20人
12/7(土)~25(水)	星に願いを (クリスマスツリーを飾ろう)	参加者 本館77人、分館33人
12/21(土)~1/15(水)	福ぶっくろ	本館70袋、分館33袋
4/28、8/4、18、10/27、12/12、1/12	としょ活	参加者 41人
6月・9月・2月	ええこバッグ	参加者 40人

##### ・広報活動

洗心、広報ごうつ、Twitter、防災無線、市HP、新聞イベント欄等での情報発信 (随時)

#### ○事業の効果

蔵書の充実、文化活動への支援、独自催し、広報活動等により、少しずつではあるが、図書館利用者の増加につながっている。

### ウ、評価及び課題

図書検索システム等も導入できていない状況であるが、利用者増の取り組みが行われている。今後も江津市図書館・歴史民俗資料館建設の実現に向け取り組みを続けていきたい。

## 19. 社会教育活動費

予算現額 (円)	決算額 (円)
867,000	854,800

### ア、事業の目的・目標

生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### 1 出前講座

##### ○事業の内容

市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけて講座を開く。

##### ○事業の実績

実施件数および参加者数

令和元年7月～3月 116件 2,833人 (平成30年度 111件 2,879人)

##### ○事業の効果 【受講者・アンケートより】

- ・ 自分らしい最期を迎えるために、他人事と思っていたのに、子ども達に迷惑をかけるようにしっかり考えようと思います。
  - ・ 口腔ケアについて、口を動かすこと、声を出すこと、何でもないと思っていることが、基本となることが良くわかった。
- など、意識の向上が見られた。

##### ●事業費の内訳

印刷製本費 (出前講座メニュー表)	91,800 円
-------------------	----------

#### 2 地域活動支援事業

##### ○事業の内容

女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験演習、見学など幅広い活動を行う。

##### ○実施主体

江津市連合婦人会、各地域9婦人会

##### ○事業の実績

実施件数および参加者数 100回 4,265人

##### ○事業の効果

各地区における婦人会活動の中核事業とし、女性の感性による様々な課題解決により、「元気・勇気・感動」のいきいきとした町づくり貢献することに積極的に努めた。

##### ●事業費の内訳

委託料 (各地区へ200,000円、連合会500,000円)	700,000 円
--------------------------------	-----------

##### ・事務費

負担金	63,000 円
-----	----------

### ウ、評価及び課題

出前講座は、地域団体の幅広い年齢において学習の機会の提供が図られている。今後も、メニューの改善、参加構成団体(民間を含む)の拡充、講座の充実を図りたい。

地域活動支援事業は、江津市連合婦人会に委託しており、各地域で防災・環境・消費者問題等をテーマに学習会等に取り組み、女性層をはじめ、地域全体の絆づくりに貢献している。会員が減少傾向にあるが、今後も地域コミュニティ活動への広がりを目指す。



## 20. ふるさと教育推進事業

予算現額 (円)	決算額 (円)
930,000	930,000

### ア、事業の目的・目標

学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にす心の育成を図る。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

小学校では主に、地域に出向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞きし、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。

中学校では、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

全小中学校において実施した。

地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が生かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開している。

#### ○事業の実績

	ふるさと教育の経費		計
	報 償 費 (円)	活動経費 (円)	
郷 田 小 学 校		70,000	70,000
渡 津 小 学 校	20,400	49,600	70,000
江 津 東 小 学 校	15,000	55,000	70,000
川 波 小 学 校		70,000	70,000
津 宮 小 学 校		70,000	70,000
高 角 小 学 校	18,600	51,400	70,000
桜 江 小 学 校	7,200	62,800	70,000
江 津 中 学 校		70,000	70,000
江 東 中 学 校		70,000	70,000
青 陵 中 学 校		70,000	70,000
桜 江 中 学 校	14,400	55,600	70,000
教育委員会事業費	89,600	70,400	160,000
合 計	165,200	764,800	930,000

#### ○事業の効果

- ・ 地域とのふれあいで、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・ 地域の伝統芸能や伝統文化の保存・伝承に携わる方に、発表の場を設ける事ができ、今後の活動の活力へつなぐことができた。
- ・ ふるさと教育に関わる地域の方も子どもの成長を目の当たりにして、社会貢献の大切さややりがいを実感できた。
- ・ ふるさと江津への愛着を深める活動になった。

### ウ、評価及び課題

各校で取り組んでいる地域の「ひと・もの・こと」を学ぶ学習活動について、江津市でのキャリア教育の考え方が浸透してきており、地域の未来を担うための人づくりの活動として、定着してきている。

教員の異動等もあるので、事業の効果や取組内容の向上を図るためには、各学校において情報共有に努めるとともに、学校と家庭・地域・企業を含めたより一層の理解や協力体制作りを継続する必要がある。

## 21. 学校支援地域本部事業

予算現額 (円)	決算額 (円)
683,000	683,000

### ア、事業の目的・目標

「学校・家庭・地域」が連携し、地域ぐるみの学校支援体制を構築し、子どもたちの健全な発育に資することを目標とする。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

近年のいじめ、不登校など青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、地域における地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透などによる、いわゆる「地域の教育力の低下」が指摘されている。また学校教育においては、教育活動以外の業務等の増加により、教員の業務量の増加が問題となっており、教員の勤務負担の軽減と教員が子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導の時間の確保が課題となっている。

これらを踏まえ「次世代を担う子ども」の学校での教育活動や放課後の活動を地域全体で支援するため、学校・家庭・地域の連携体制の構築を図り、多様な支援を可能とし学校・家庭・地域が三位一体となって子どもと向き合う時間の拡充を図る。

#### ○事業の実績

1. 各小中学校においての学校支援ボランティアへの取り組み
  - ①学習支援活動のボランティア紹介、学校に関わる地域の人材ほりだし
  - ②部活動指導、クラブ活動指導の人材紹介
  - ③登下校時の安全指導員の調整
  - ④学校環境整備活動の人員確保
  - ⑤放課後子ども教室との連携
  - ⑥ふるさと教育の講師・ボランティアの紹介
2. コーディネーター等連絡会議 (1回)
  - ①学校支援地域コーディネーター、放課後支援コーディネーター、親学ファシリテーターの合同連絡会議を開催
3. 各種研修会への参加
  - ・支援活動事業数 : 合計 876日
  - ・参加人数 (延べ) : 合計 9,202人

#### ○事業の効果

- ・地域コーディネーターの活動により、地域コミュニティ組織と連携しながら学校支援活動を行っているところもあり、参加者も増加傾向にある。
- ・ふるさと教育、キャリア教育、放課後支援事業にも、コーディネーターが関わるようになり、社会教育事業の核となっている。

#### ○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
諸謝金	352,200	コーディネーター活動謝金
需用費	185,800	会議資料紙代等消耗品
役務費	145,000	ボランティア連絡用切手
合計	683,000	

### ウ、評価及び課題

本事業の取り組みは、学校の授業支援、学習環境の整備、登下校の見守り活動など、無くてはならない事業となっており、地域と学校をつなぐ活動の核として、重要な役割を果たす事業となっている。

今後も、より多くの地域住民が参加する活動になるよう、放課後子ども教室やサタデースクール等、他事業との連携強化が必要である。

## 22. 放課後子ども教室推進事業

予算現額 (円)	決算額 (円)
7,407,000	6,146,000

### ア、事業の目的・目標

学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が、健やかに過ごすことができる環境を整備する。子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め地域力のアップにつなげていく。保護者自身も、単に便利なサービスを楽しむ側に回るのではなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わっていくよう促す。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室推進事業）

放課後等に地域のコミュニティ交流センター等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。

#### ○事業の実績

		年間実施日数
郷田っこひろば	(郷田小学校区)	24日
アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	5日
渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	16日
江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	145日
跡市放課後子どもクラブ	(跡市小学校区)	215日
波っ子クラブ	(川波小学校区)	8日
有福温泉子ども教室	(川波小学校区)	31日
二宮集いの家	(津宮小学校区)	216日
つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	194日
角っこひろば	(高角小学校区)	44日
桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	124日
お茶のま食堂	(川波・津宮小学校区)	4日
		合計 1,026日

#### ○事業の効果

- ・学校、家庭、地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が高まった。
- ・放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりの中かで、相互に成長が見られる。
- ・集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。
- ・そうした子どもたちの成長を目の当たりにして、事業に参画する大人も、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力となった。
- ・地域住民の参画：のべ3,060人　子どもの参加：のべ14,299人

#### ○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
報償費	5,654,000	各教室コーディネーター等謝金
需用費	340,037	各教室消耗品等
役務費	151,963	各教室コーディネーター等保険料
合計	6,146,000	

### ウ、評価及び課題

徐々に実施箇所数も増え、地域住民と子どもとの関わりにより、お互いの「学び」の機会につながっていると見える。

一方で、いわゆる子供食堂の機能を取り入れた取り組みも徐々に回数が増えており、今後も地域に根付くように保護者の理解を得ることが必要である。

## 23. 放課後児童クラブ事業

予算現額 (円)	決算額 (円)
82,337,881	82,298,100

### ア、事業の目的・目標

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。

### イ、施策の内容、実績及び効果

費目	金額 (円)	内容
旅費	19,400	旅費
需用費	284,307	消耗品、光熱水費、修繕料他
役務費	100,259	通信費、手数料、火災保険料他
委託料	81,894,134	運営委託、浄化槽管理、設計委託
合計	82,298,100	

令和2年3月31日現在

児童クラブ名	入所児童数 (人)					
	指導員数	1年	2年	3年	4年～	合計
津宮放課後児童クラブ	5	28	22	5	0	55
高角放課後児童クラブ	6	19	15	13	2	49
江津東放課後児童クラブ	3	9	8	7	4	28
桜江放課後児童クラブ	3	11	10	11	6	38
渡津放課後児童クラブ	3	12	6	9	2	29
川波放課後児童クラブ	3	11	8	7	3	29
郷田放課後児童クラブ	3	6	12	9	10	37
計	26	96	81	61	27	265

#### ○ 事業の効果

放課後及び長期休暇中の子どもの安全と健全な育成を推進し、保護者の就業支援に寄与している。

### ウ、評価及び課題

平成28年度より対象児を「小学校に就学している児童」としたことから、応募が定数を超える児童クラブが増えており、児童の受け入れ体制（施設整備、支援員確保）の整備が必要となっている。

## 24. ふるさと・キャリア教育推進事業

予算現額 (円)	決算額 (円)
4,500,000	4,500,000

### ア、事業の目的・目標

地域の「ひと・もの・こと」をいかした学習活動をとおして、ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、今の学びと未来の生活のつながりを常に意識して、子どもたちの自立を目指す教育を推進する。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

- ・ 地域や異文化との交流事業
- ・ 地域企業（団体）との連携事業（体験活動など）
- ・ 地域を知るための自然体験・学習活動
- ・ 職場見学、職場体験
- ・ 地域の教育力と連携した放課後、土曜日等に行う学習活動
- ・ 地域の保育・教育施設（異施設種）との横や縦、斜めのつながりを創るための活動
- ・ 先進的な取組みを実施しているキャリア教育に関する研究者・従事者を招いた講演

#### ○事業の実績・効果

- ・ ふるさとの文化や歴史、自然人々について学び、ふるさとへの愛着や誇りを育て、ふるさとへ貢献しようとする意欲と態度を育成することができた。
- ・ 児童、生徒が周囲の人、ふるさとの大切さに気付くとともに、ふるさとに支えられている存在であるということが認識できた。
- ・ 地域の人材が「我がまちの学校」として、学校を末永く支援してくれる体制づくりができた。
- ・ 地域、企業と学校との連携だけでなく、小学校と高等学校、保育所と中学校、大学校などの市内保育・教育機関との連携が活発になった。

#### ○事業費の内訳

委託先 NPO法人「てごねっと石見」 委託料 4,500,000円

費目	金額 (円)	備考
委託料	4,500,000	保育・学校活動費・コーディネーター人件費等
合計	4,500,000	

### ウ、評価及び課題

本年度も、すべての小中学校で事業実施し、地域と連携した学校教育活動となるよう推進してきた。また保育機関や高校、大学校との連携もできてきた。

今後も各機関において継続して事業を実施していただけるよう、体制作りも強化していく。

## 25. 教育魅力化推進事業

予算現額 (円)	決算額 (円)
8,600,000	8,600,000

### ア、事業の目的・目標

学校・家庭・地域の連携を図りながら、幼稚園（保育所）・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学校という「校種の壁」を越えた一体的・系統的な教育活動を展開し、地域の特色を活かした「教育の魅力化」に取り組む。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

- ①市内の幼稚園（保育所）、小・中・高等学校、ポリテクカレッジ島根と地域・行政が一体となって実施する「高校の魅力化」に取り組む。
- ②「高校の魅力化」はもちろん、現在実施している江津市の「ふるさと・キャリア教育」をさらに充実させるため、これらの取り組みを総合調整し、地域の機運を醸成する統括プロデューサーを配置。
- ③市内小中高校に対して、わくわくエンジン®発見プログラムを実施。また、発見プログラムに関わるナビゲーターの養成を行った。
- ④小学生児童に対して楽器体験の教室を実施。小学生児童に対して、地域の音楽団体・音楽家・中学校吹奏楽部が協力して楽器体験の教室を行った。他の小学校とのつながり以外にも教室に関わる大人等のタテ・ヨコ・ナナメの関係を作ることができた。

#### ○事業費

- ① 委託先 NPO法人「てごねっと石見」 委託料 1,700,000円

費目	金額 (円)	備考
委託料	1,700,000	中高生合宿・プログラミング教室運営委託料
合計	1,700,000	

- ② 委託先 合同会社「EGAHOUSE&COMPANY」 委託料 3,400,000円

費目	金額 (円)	備考
委託料	3,400,000	統括プロデューサー配置委託料
合計	3,400,000	

- ③ 委託先 合同会社「EGAHOUSE&COMPANY」 委託料 3,000,000円

費目	金額 (円)	備考
委託料	3,000,000	小中学生わくわくキャリア教育委託料
合計	3,000,000	

- ④ 委託先 「石見音楽文化振興会」 委託料 500,000円

費目	金額 (円)	備考
委託料	500,000	キッズミュージックスクール教室運営委託料
合計	500,000	

#### ○事業の効果

- ・ ふるさとキャリア教育との連携（親しみや憧れ）による地元高校への進路選択肢の増。
- ・ ふるさとの魅力を伝えること（地域情報の伝達）による進路選択肢の増。

### ウ、評価及び課題

統括プロデューサーを配置することによって、小中高、企業等の総合調整を行い連携した事業を行うことができた。今後は自分自身の好きなこと、やりたいことを見つけるための手助けをする、新たな仕組みを取り入れた事業を展開していきたい。

## 26. 埋蔵文化財発掘調査事業

予算現額 (円)	決算額 (円)
14,431,180	12,799,603

### ア、事業の目的・目標

埋蔵文化財の適正な保護及び文化財保護思想の普及啓発を図る。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

文化財保護法に基づく開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準に則して、必要な埋蔵文化財調査を実施する。また、出土品を適切に取り扱い、活用に資する。

#### ○事業の実績

##### ●波積ダム文化財総合調査事業（発掘調査）

- ・島根県浜田県土整備事務所委託事業（100%補助）
- ・内容：波積ダム工事に伴う遺跡岩瀧寺跡地の記録保存を目的とした発掘調査
- ・委託期間：平成31年4月26日～令和2年8月31日

費目	金額 (円)	内 容	翌年度への繰越額 (円)
共 済 費	611,478	雇用保険・社会保険・労災保険料	
賃 金	5,422,040	調査補助員・事務補助員・作業員	420,726
報 償 費	10,000	調査指導謝礼金	10,000
旅 費	17,860	連絡旅費	
需 用 費	381,301	消耗品費・光熱水費・燃料費等	804,150
役 務 費	41,668	電話代・手数料	135,942
委 託 料	550,000	測量・分析委託	51,867
使用料及び賃借料	3,678,836	調査器材一式・車両・コピー機賃借料使用料	
計	10,713,183		1,422,685

- ・効果 面積約2,500m<sup>2</sup>を調査し、中近世の遺構・遺物を発見した。遺物はコンテナ120箱の量であり、新たな地域史解明に繋がる資料を得ることができた。

##### ●遺跡発掘調査費

- ・国庫補助事業（46.7%補助）
- ・内容：詳細分布調査、鉄製品保存処理
- ・期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日
- ・補助金額：1,000,000円

費目	金額 (円)	内 容
共 済 費	286	雇用保険・社会保険・労災保険料
賃 金	157,165	調査補助員・事務補助員・作業員
旅 費	13,200	連絡旅費
需 用 費	63,089	消耗品費・光熱水費・写真現像代・燃料費等
委 託 料	1,852,680	測量・分析委託
計	2,086,420	

- ・効果 これまで把握できていなかった江の川流域の石塔の現状を確認した。これにより、市民の問合せ対応や今後の活用に資する情報を集めることができた。

### ウ、評価及び課題

委託調査に関しては、事業者・住民と協議を重ねて文化財保護についての理解を得、当初定められた期間内に100%実施することができた。次年度で報告書の作成を行う予定。今後は埋蔵文化財の整理を行い、地域史研究や出前講座など社会教育において活用をめざす。

## 27. 総合市民センター費

予算現額 (円)	決算額 (円)
58,166,000	58,052,297

### ア、事業の目的・目標

江津市総合市民センターの維持管理と、各設備の修繕・改修工事を行う。

### イ、施策の内容、実績及び効果

#### ○事業の内容

江津市総合市民センターの維持管理は、指定管理に関する基本協定に基づき指定管理者と分担し、市では大規模な改修・修繕工事を行っている。

#### ○事業の実績

費目	金額 (円)	内 容
需用費 (修繕料)	280,800	冷却塔支持金物交換
	404,000	ロビー階段上部天井漏水修理
	205,700	和室畳表替え
	99,000	事務室漏水修理
	453,600	空調機ダンパ操作器交換
	486,000	2階便所系統排気ファン更新
	381,260	非常灯バッテリー取替
役務費	59,737	建物損害保険
委託料	31,015,000	指定管理料
工事請負費	22,183,200	中央監視装置更新工事
	2,484,000	火災報知器・非常放送設備取替工事
合計	58,052,297	

#### ○月別利用状況

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
入館者 (人)	690	672	1,567	2,426	2,507	2,297	3,392
入館料 (円)	192,500	192,160	594,510	730,500	854,510	736,910	879,420
区 分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
入館者 (人)	5,358	2,882	2,950	1,794	525	27,060 人	
入館料 (円)	1,642,750	592,920	672,090	421,760	233,310	7,743,340 円	

#### ○事業の効果

施設・設備の改修を行うことで、長寿命化を図ることができた。

### ウ、評価及び課題

開館後20年以上経過し、建物・施設内設備ともに老朽化している。定期点検等により改修・修繕の洗い出しを行っており、優先順位をつけながら今後も計画的に改修・修繕していく必要がある。